

7 おおいたブランド推進課の事業概要

(事業名) 「The・おおいた」ブランド流通戦略推進事業

(新規 実施期間：平成26年～28年)

| 本年度予算額 (前年度予算額) | 左 の 財 源 内 訳 | | | 事業主管課・室 (担当) | 地方機関 |
|---------------------|-------------|--------------|-------|--|----------------|
| | 国 庫 | 一 般 | そ の 他 | | |
| 千円 29,040 (0) | 千円 | 千円 29,040 | 千円 | おおいたブランド 推進課 (消費流通班、 ブランド推進班) | 振興局 (生産流通部) |

事業の趣旨

農林水産物の総合商談窓口として、量販店の取扱い規模の拡大や青果物流通の再編合理化など流通の変化に迅速・的確に対応し、「マーケット起点の商品づくり」や県域流通をさらに進展させるため、県メーカーの販路開拓と情報発信を強化するとともに、農業団体のマーケティング部門の育成を支援する。

また、生産者自らが取り組む販路開拓を推進するため、県外展示商談会への参加支援や県内商談会を開催する。

事業の内容

| 事業区分 | 予算額 | 事業の内容 | 予定地区等 |
|---------------------------------------|--------------|---|----------------|
| マーケティング活動による 販路開拓と県農協の流通改 革支援対策 | 千円 10,746 | メーカーの設置、マーケティングアドバ イザーの設置、流通対策本部の運営 | 県下全域及び 大都市圏 |
| 商談促進対策 | 5,763 | 県外展示商談会出展の支援及び県内におけ るThe・おおいたブランド商談会開催 | 県下全域及び 大都市圏 |
| 情報発信事業 | 1,551 | 旬の情報誌の作成 | 県下全域及び 大都市圏 |
| カボス対策 | 3,250 | カボスのPR及び消費拡大 | 県下全域及び 大都市圏 |
| 推進費 | 7,730 | | |

(事業名) 市場ニーズに応える次世代担い手組織育成事業

(継続 実施期間：平成25年～27年)

| 本年度予算額 (前年度予算額) | 左の財源内訳 | | | 事業主管課・室 (担当) | 地方機関 |
|------------------------|--------|-------------|-----|----------------------------|----------------|
| | 国庫 | 一般 | その他 | | |
| 千円 2,651 (2,957) | 千円 | 千円 2,651 | 千円 | おおいたブランド 推進課 (消費流通班) | 振興局 (生産流通部) |

事業の趣旨

県域流通体制の整備・強化を図るため、県域において意欲の高い若手生産者のネットワークを育成し、「マーケット起点のものづくり」に対する意識改革を浸透させることで、市場における有利販売のさらなる強化につなげる。

事業の内容

| 事業区分 | 予算額 | 事業の内容 | 予定地区等 |
|----------------|-------------|---|-------|
| 戦略品目別若手担い手組織育成 | 千円 2,651 | 次世代マーケティング研究会を設立し、品目別に若手生産者を県域で組織化し、流通体制、市場ニーズ、品質向上等に関する研修会を実施 <研修内容> 販売戦略、市場ニーズの把握、IT化、品質管理、他産地情報、市場での販売状況調査 | 県下全域 |

(事業名) 流通情報ネットワークシステム推進事業

(継続 実施期間：平成26年～31年)

| 本年度予算額 (前年度予算額) | 左の財源内訳 | | | 事業主管課・室 (担当) | 地方機関 |
|----------------------|--------|-------------|-----|----------------------------|----------------|
| | 国庫 | 一般 | その他 | | |
| 千円 9,555 (755) | 千円 | 千円 9,555 | 千円 | おおいたブランド 推進課 (消費流通班) | 振興局 (生産流通部) |

事業の趣旨

量販店等のマーケットニーズに対応した効果的な生産指導や有利販売を実践するため、全国の市況情報と県内産地の販売状況をデータベース化し、それらの流通情報を普及指導員や県メーカーに提供する。

事業の内容

| 事業区分 | 予算額 | 事業の内容 | 予定地区等 |
|----------|-------------|---------------------|-------|
| システム開発 | 千円 8,481 | システムサーバーの開発及び保守 | 県下全域 |
| 更新用機器関係 | 601 | ソフトウェアやハードウェアのリース料等 | 県下全域 |
| 消耗費・通信費等 | 473 | 通信用回線使用料等 | 県下全域 |

(事業名) 地産地消運動活性化推進事業

(継続 実施期間：平成25年～27年)

| 本年度予算額 (前年度予算額) | 左の財源内訳 | | | 事業主管課・室 (担当) | 地方機関 | |
|------------------------|--------|---|-------------|-----------------|----------------------------|--|
| | 国 | 庫 | 一 般 | | | そ の 他 |
| 千円 3,956 (4,260) | 千円 | | 千円 3,956 | 千円 | おおいたブランド 推進課 (消費流通班) | 振興局 (地域振興部) (農山漁村振興部) (生産流通部) |

事業の趣旨

民間企業やNPO等との連携強化や県民参加型キャンペーンの拡大等により、県民総ぐるみの運動にすることで取組の活性化を図り、食と農林水産業の関わりについて理解を深め、豊かな食生活の実現と農林水産業の持続的な発展を推進する。

事業の内容

| 事業区分 | 予算額 | 事業の内容 | 予定地区等 |
|-------------------------|-------------|--|-------|
| 地産地消商品開発支援 | 千円 1,304 | 包括協定を結ぶコンビニエンスストア等との連携による県内高校生・大学生等を対象とした県産食材加工品コンテストの開催と商品化支援 | 県下全域 |
| 民間企業等とタイアップした地産地消キャンペーン | 1,220 | 大手食品メーカーやNPO等との協働による県産品のPRと消費拡大 | 県下全域 |
| 直売所連携強化推進事業 | 408 | 直売所経営者を対象とした研修会、意見交換会等の開催することにより、直売所ネットワークを強化し、販促活動や商品調達の共同化等を推進 | 県下全域 |
| 推進費 | 1,024 | | |

(事業名) 緊急雇用農産物流通情報高度化支援事業

(新規 実施期間：平成26年～27年)

| 本年度予算額 (前年度予算額) | 左 の 財 源 内 訳 | | | 事業主管課・室 (担当) | 地方機関 |
|---------------------|-------------|-----|--------------|----------------------------|-----------------------------|
| | 国 庫 | 一 般 | 繰 入 金 | | |
| 千円 10,121 (0) | 千円 | 千円 | 千円 10,121 | おおいたブランド 推進課 (消費流通班) | 振興局 (農山漁村振興部) (生産流通部) |

事業の趣旨

農産物の流通に精通した人材を育成するとともに、流通情報を一元管理するシステムを導入し、マーケットへの迅速な情報提供と効率的な一元分荷、及び生産者の個別指導に必要な販売実績情報を一元管理することにより、県産農産物の価格向上と農業者の経営改善を図る。

事業の内容

| 事業区分 | 予算額 | 事業の内容 | 予定地区等 |
|---------|-------------|-----------------|-------|
| 新規雇用人件費 | 千円 5,091 | 流通に精通した2名の人材育成 | 県下全域 |
| その他事業費 | 5,030 | 流通情報一元管理システムの開発 | 県下全域 |

(事業名) 食のまちさいき推進事業

(新規 実施期間：平成26年～28年)

| 本年度予算額 (前年度予算額) | 左の財源内訳 | | | 事業主管課・室 (担当) | 地方機関 |
|--------------------|--------|-------------|-----|----------------------------|-----------------------------|
| | 国庫 | 一般 | その他 | | |
| 千円 2,795 (0) | 千円 | 千円 2,795 | 千円 | おおいたブランド 推進課 (消費流通班) | 南部振興局 (地域振興部) (生産流通部) |

事業の趣旨

東九州自動車道の開通を見据え、食のまち佐伯のPRとともに個店指導による飲食店の魅力の向上を図り、佐伯の強みである食を活かした地域づくりを推進する。

事業の内容

| 事業区分 | 予算額 | 事業の内容 | 予定地区等 |
|------------------|-------------|-------------------|---------|
| さいき・味力ブラッシュアップ事業 | 千円 2,483 | 地元飲食店の個店指導による魅力向上 | 南部振興局管内 |
| 地元産品生産・消費拡大事業 | 312 | 地場産品の学校給食等での活用を促進 | 南部振興局管内 |

(事業名) 農林水産物輸出促進対策事業

(継続 実施期間：平成26年～28年)

| 本年度予算額 (前年度予算額) | 左の財源内訳 | | | 事業主管課・室 (担当) | 地方機関 |
|------------------------|--------|-------------|-----|------------------------------|----------------|
| | 国庫 | 一般 | その他 | | |
| 千円 6,769 (3,950) | 千円 | 千円 6,769 | 千円 | おおいたブランド 推進課 (ブランド推進班) | 振興局 (生産流通部) |

事業の趣旨

ブランドおおいた輸出促進協議会を核として、輸出体制の整備を進めるとともに、新規取引国の拡大、新たな農家・企業による輸出を支援し、輸出による農林水産業者の所得向上を図る。

事業の内容

| 事業区分 | 予算額 | 事業の内容 | 予定地区等 |
|-----------|-------------------|---|-------|
| 新規輸出者発掘対策 | 千円 0 (国費活用) | 輸出体制の整備・強化を図るため、ブランドおおいた輸出促進協議会が開催する企業の農家等を対象とした農林水産物輸出研修会を支援する。 | 県下全域 |
| 輸出国拡大支援対策 | 2,280 | ブランドおおいた輸出促進協議会(農産部会林産部会、水産部会、畜産部会)が実施する輸出業者と連携した新たな輸出先開拓の取り組みに対して支援する。 | 県下全域 |
| 輸出定着・拡大対策 | 4,489 | ブランドおおいた輸出促進協議会がこれまで開拓したルートに対し実施する販売促進活動等、輸出量拡大に対する取り組みに支援する。 | 県下全域 |

(事業名) 6次産業化サポート体制整備事業

(継続 実施期間：平成26年～28年)

| 本年度予算額 (前年度予算額) | 左の財源内訳 | | | 事業主管課・室 (担当) | 地方機関 |
|---------------------------|---------------|-------------|-----|------------------------------|----------------|
| | 国庫 | 一般 | その他 | | |
| 千円 237,911 (47,454) | 千円 236,308 | 千円 1,603 | 千円 | おおいたブランド 推進課 (ブランド推進班) | 振興局 (生産流通部) |

事業の趣旨

6次産業化のさらなる推進により、県産農林水産物に高付加価値を付けるとともに、将来にわたって継続する産業として成り立つレベルまでステップアップを推進することにより、生産者の所得向上、雇用の場の拡大、地域の活性化を図る

事業の内容

| 事業区分 | 予算額 | 事業の内容 | 予定地区等 |
|----------------|--------------|---|-------------|
| 6次産業化の推進 | 千円 21,305 | 6次産業化サポートセンターや県推進会議の設置、さらにはアグリ専任プランナーの配置など推進体制を整備を強化する。 また、ネットワーク構築に取り組む市町村への支援や農林漁業者と2次産業、3次産業の異業種間交流を図るシンポジウムなどを開催する。 | 県下全域 宇佐市 |
| 新商品開発・販路開拓への支援 | 215,000 | 多様な事業者とネットワークを構築する6次産業化事業者や農商工連携事業者に対し、新商品開発や新たな販路開拓などの取り組みを支援する。 また、生産・加工・流通関連施設の整備にも支援を行う。 | 県下全域 |
| 販路開拓への支援 | 1,512 | 商品の販売力強化を目指すため、FCP(フードコミュニケーションプロジェクト)の取組みを活用し、食品の安全性など消費者の信頼確保や商品のPR力向上を図る。 首都圏での販路開拓・拡大を進めるため、坐来大分での求評商談会や全国規模の商談会出展への支援を行う。 | 県下全域 首都圏 |
| 6次化ファンドとの連携 | 94 | 平成25年6月に設立した地域ファンド運営会社と6次産業化サポートセンター、行政との情報交換会を開催する。 | 県下全域 |

(事業名) 加工用原料産地拡大推進事業

(継続 実施期間：平成25年～27年)

| 本年度予算額 (前年度予算額) | 左の財源内訳 | | | 事業主管課・室 (担当) | 地方機関 |
|--------------------------|--------|--------------|-----|------------------------------|----------------|
| | 国庫 | 一般 | その他 | | |
| 千円 12,000 (24,500) | 千円 | 千円 12,000 | 千円 | おおいたブランド 推進課 (ブランド推進班) | 振興局 (生産流通部) |

事業の趣旨

集落営農法人や生産部会、農業生産法人等が県内食品加工業者と安定した取引ができるよう両者のマッチングを推進することで、生産規模の拡大、経営の安定化を図る。

事業の内容

| 事業区分 | 予算額 | 事業の内容 | 予定地区等 |
|------------|--------------|---|-------|
| 大型機械等の導入支援 | 千円 10,000 | 県が認定した県内食品加工業者へ原料を供給する農業生産法人等に対し、大型収穫機械などの購入に対し支援する。 | 県下全域 |
| 農地集積に対する支援 | 2,000 | 県内食品加工業者向け原料の生産拡大を行う農業生産法人等へ農地の流動化を促進するため、賃借権、所有権の移転等農地集積に係る経費に対して助成する。 | 県下全域 |

(事業名) 緊急雇用農林水産物輸出連携強化事業

(継続 実施期間：平成26年～27年)

| 本年度予算額 (前年度予算額) | 左 の 財 源 内 訳 | | | 事業主管課・室 (担当) | 地方機関 |
|---------------------|-------------|-------------|-------|------------------------------|------|
| | 国 庫 | 繰入金 | そ の 他 | | |
| 千円 2,936 (0) | 千円 | 千円 2,936 | 千円 | おおいたブランド 推進課 (ブランド推進班) | |

事業の趣旨

ブランドおおいた輸出促進協議会を核として、農林水産物の輸出拡大を進めており、今後は輸出業者との連携を強化し、民間活力を活用した輸出拡大を行うこととしている。

そこで、ブランドおおいた輸出促進協議会に新規雇用者1名を雇用することで、農林水産物輸出に係る業務を学び、輸出拡大業務を実施できる人材を育成する。

事業の内容

| 事業区分 | 予算額 | 事業の内容 | 予定地区等 |
|-----------------------|-------------|--|-------|
| 緊急雇用農林水産物 輸出連携強化事業 | 千円 2,936 | 県産農林水産物の輸出拡大を図るため、新規雇用者1名を配置し、輸出拡大に関する業務をブランドおおいた輸出促進協議会に委託する。 | 県下全域 |

(事業名) GAP実践農業者支援事業

(新規 実施期間：平成26年～28年)

| 本年度予算額 (前年度予算額) | 左の財源内訳 | | | 事業主管課・室 (担当) | 地方機関 |
|------------------------|-------------|-------------|-----|------------------------------|-----------------|
| | 国庫 | 一般 | その他 | | |
| 千円 5,050 (4,749) | 千円 3,246 | 千円 1,804 | 千円 | おおいたブランド 推進課 (安全農業推進班) | 振興局 (生産流通部等) |

事業の趣旨

流通業者や消費者に「選ばれる産地」となるよう、企業的農家や広域的な部会に対してGAPの導入を推進し、有利販売につなげる。また、GAPを実践する意義や利点について、消費者にも広く理解してもらうことにより、社会全体でGAPに取り組む気運を高め、安全・安心な農産物を生産・販売・購入できる社会をめざす。

事業の内容

| 事業区分 | 予算額 | 事業の内容 | 予定地区等 |
|-------------------------------------|-------------|--|-------|
| 普及・標準GAPの導入支援 ・GAPの導入支援 | 千円 1,140 | ・生産部会等の普及GAP・標準GAP導入の取組に対する支援。 | 県下全域 |
| ・JGAP等認証取得支援 | 1,000 | ・JGAP等の認証を新規に取得する者に対して審査費用の一部助成。 | 県下全域 |
| ・JGAP基礎研修受講支援 | 168 | ・JGAP基礎研修を受講する生産者等に対し、受講費の一部を助成 | |
| GAPの実践支援 ・JGAP等認証のためコンサル、公開講座を実施 | 975 | ・JGAP等認証を取得しようとする生産部会等を対象にコンサルや公開講座を実施 | 県下全域 |
| GAP普及推進・指導体制強化 ・指導者養成 | 950 | ・普及指導員を対象に、協会主催の基礎研修、内部監査員研修を開催 | 県下全域 |
| ・生産者向け研修会の開催 | 520 | ・生産者の理解促進等のための研修会の開催 | 県下全域 |
| ・推進会議の開催 | 297 | ・GAP推進を図るため、関係機関との推進会議を開催 | 県下全域 |

補助等の条件

| 事業区分 | 事業主体 | 採択基準(又は条件) | 補助率 |
|--------------|-------|--|--------|
| GAP導入支援 | 生産部会等 | 消費・安全対策交付金(国1/2)交付要綱等に則した事業内容により普及GAPまたは標準GAPを導入すること | 国1/2以内 |
| JGAP認証等取得支援 | 生産部会等 | JGAPまたはGLOBALGAPの認証を新規に取得すること | 県1/2以内 |
| JGAP基礎研修受講支援 | 生産者等 | JGAP基礎研修を受講し、JGAP指導員資格を取得すること | 県1/2以内 |

県の補助金等交付要綱、実施要綱・要領等

| 事業区分 | 補助金等交付要綱、実施要綱・要領等 |
|--------------|--|
| GAP実践農業者支援事業 | GAP実践農業者支援事業費補助金交付要綱 GAP実践農業者支援事業実施要領 |

国の補助金等交付要綱、実施要綱・要領等

| 事業区分 | 補助金等交付要綱、実施要綱・要領等 |
|------------|--|
| 消費・安全対策交付金 | 消費・安全対策交付金交付要綱 消費・安全対策交付金実施要綱 消費・安全対策交付金実施要領 |

(事業名) 緊急雇用有機農業担い手確保対策事業

(新規 実施期間：平成26年～27年)

| 本年度予算額 (前年度予算額) | 左 の 財 源 内 訳 | | | 事業主管課・室 (担当) | 地方機関 |
|--------------------|-------------|-----|-------------|------------------------------|------|
| | 国 庫 | 一 般 | そ の 他 | | |
| 千円 9,848 (0) | 千円 | 千円 | 千円 9,848 | おおいたブランド 推進課 (安全農業推進班) | — |

事業の趣旨

有機農業を推進するため、有機栽培農家での実技研修や座学研修等を行い、有機農業で就農する新規就農者等の育成を図る。

事業の内容

| 事業区分 | 予算額 千円 | 事業の内容 | 予定地区等 |
|----------|-----------|---|-------|
| 有機農業者の育成 | 9,848 | 有機農業への就農を希望する人材を雇用し、有機栽培農家での実技研修や委託先での座学研修を行うことにより、栽培技術及び経営についてのノウハウを修得してもらい、新たな有機農業経営の開始につなげる。 | 県下全域 |

(事業名) 有機農業産地育成推進事業

(新規 実施期間：平成26年～28年)

| 本年度予算額 (前年度予算額) | 左の財源内訳 | | | 事業主管課・室 (担当) | 地方機関 |
|--------------------|--------|-------------|-----|------------------------------|-----------------|
| | 国庫 | 一般 | その他 | | |
| 千円 1,257 (0) | 千円 | 千円 1,257 | 千円 | おおいたブランド 推進課 (安全農業推進班) | 振興局 (生産流通部等) |

事業の趣旨

有機農業での新規就農希望者が増加する中で、就農者が順調に就農できるための受入れ体制の整備、生産力を安定させるフォローアップ対策、販売力向上のための流通拡大支援を実施し、有機農業者の生産力と販売力の向上を図る。

事業の内容

| 事業区分 | 予算額 | 事業の内容 | 予定地区等 |
|--|------------|---|--------------|
| 関係機関の受入れ体制の整備 ・関係機関の研修、経営指標の作成 | 千円 307 | ・有機JAS認証研修、優良事例調査、経営指標作成 | 県下全域 |
| 有機農業者のフォローアップ対策 ・新規就農者等の生産力向上支援 ・有機農産物認証支援 | 437 300 | ・新規就農者を育成するために有機農業生産者を指導者として派遣 ・有機JAS認証に取り組む個人、営農集団、法人等を支援 | 県下全域 県下全域 |
| 有機農業販売支援対策 ・有機農産物等の流通拡大支援 | 213 | ・有機農産物の流通拡大を図るため、有機農産物流通アドバイザーを設置 | 県下全域 |

補助等の条件

| 事業区分 | 事業主体 | 採択基準(又は条件) | 補助率 |
|-----------|-------------|-------------------|--------|
| 有機農産物認証支援 | 個人、法人、営農集団等 | 新規に有機JAS認証を取得すること | 県1/2以内 |

県の補助金等交付要綱、実施要綱・要領等

| 事業区分 | 補助金等交付要綱、実施要綱・要領等 |
|--------------|--|
| 有機農業産地育成推進事業 | 有機農業産地育成推進事業費補助金交付要綱 有機農業産地育成推進事業実施要領 |

(事業名) 安全・安心な農作物防除推進事業

(継続 実施期間：平成18年～26年)

| 本年度予算額 (前年度予算額) | 左の財源内訳 | | | 事業主管課・室 (担当) | 地方機関 |
|------------------------|-----------|-----------|-----|------------------------------|------------------|
| | 国庫 | 一般 | その他 | | |
| 千円 1,631 (1,952) | 千円 711 | 千円 920 | 千円 | おおいたブランド 推進課 (安全農業推進班) | 農林水産研究指導 センター |

事業の趣旨

難防除病害虫に対する防除対策として総合的防除体系の確立を図るとともに、登録農薬の少ないマイナー作物の農薬登録を促進することで安定生産と安全・安心な農作物づくりを推進する。

事業の内容

| 事業区分 | 予算額 | 事業の内容 | 予定地区等 |
|---------------|-----------|---|-------|
| 重要病害虫防除対策の確立 | 千円 214 | ナシにおいて、生物資材やトラップ調査による的確な発生予察を組み合わせることにより、薬剤抵抗性に対応し、農薬だけに依存しない総合的防除技術の確立を図る。 | 県下全域 |
| マイナー作物農薬登録の促進 | 1,417 | 農薬登録が少なく生産が不安定となっているマイナー作物における農薬登録を促進するため農薬登録試験を実施する。 | 県下全域 |

国の補助金等交付要綱、実施要綱・要領等

| 事業区分 | 補助金交付要綱、実施要綱・要領等 |
|--------------|--|
| 消費・安全対策確保交付金 | 消費・安全対策交付金交付要綱 消費・安全対策交付金実施要綱 消費・安全対策交付金実施要領 |

(事業名) 環境保全型農業推進事業

(継続 実施期間：平成24年～27年)

| 本年度予算額 (前年度予算額) | 左の財源内訳 | | | 事業主管課・室 (担当) | 地方機関 |
|--------------------------|-------------|-------------|-----|------------------------------|-------------------------------------|
| | 国庫 | 一般 | その他 | | |
| 千円 10,651 (10,020) | 千円 1,150 | 千円 9,501 | 千円 | おおいたブランド 推進課 (安全農業推進班) | 振興局 (生産流通部等) 農林水産研究 指導センター |

事業の趣旨

環境負荷の低減と安全・安心で環境と調和のとれた農業を推進するため、国の制度である「環境保全型農業直接支援対策」やI P M(総合的病害虫・雑草管理)技術の取組拡大を図るとともに、マーケット起点の商品づくりに対応した新認証制度を創設し、県産農産物の信頼性向上と収益性の増加を図る。

事業の内容

| 事業区分 | 予算額 千円 | 事業の内容 | 予定地区等 |
|--|------------|---|-------|
| 環境保全型農業直接支援対策 ・地球温暖化防止又は生物多様性保全に効果の高い営農活動に対する助成 | 7,750 | ・有機農業又は化学肥料・化学合成農薬の5割以上の低減かつカバークロープ、冬期湛水、堆肥投入のいずれかを組み合わせた取組に対する助成 | 県下全域 |
| 環境保全型農業の取組支援 ・栽培技術普及及び環境保全型農業の普及啓発促進 | 408 | ・化学肥料及び化学合成農薬使用低減につながる栽培技術の普及 ・栽培技術資料等による普及啓発促進 | 県下全域 |
| ・e-naおおいた農産物認証制度業務委託 ・I P M実践活動モデル生産組織支援 | 700 900 | ・N P O法人に制度についての広報活動及び認証業務を委託 ・I P M実践活動にモデル的に取り組む生産組織に対する助成 | 県下全域 |
| 環境保全型農業普及啓発対策 ・消費者へのP R活動 | 70 | ・認証農産物等の販促活動及びイベントにおけるP R | 県下全域 |
| 新認証制度設立対策 ・策定会議の設置 | 823 | ・新認証制度の創設と表示マークの作成 | |

補助等の条件

| 事業区分 | 事業主体 | 採択基準(又は条件) | 補助率 |
|---------------|------|---|--------|
| 環境保全型農業直接支援対策 | 農業者 | 有機農業又は、化学肥料・化学合成農薬の5割以上低減かつカバークロープ、冬期湛水、堆肥投入のいずれかを併せて取り組むこと | 県1/4以内 |

県の補助金交付要綱、実施要綱・要領等

| 事業区分 | 補助金交付要綱、実施要綱・要領等 |
|---------------|-------------------------|
| 環境保全型農業直接支援対策 | 大分県環境保全型農業直接支援対策交付金交付要綱 |

国の補助金等交付要綱、実施要綱・要領等

| 事業区分 | 補助金等交付要綱、実施要綱・要領等 |
|---------------|--|
| 環境保全型農業直接支援対策 | 環境保全型農業直接支援対策交付金交付要綱 環境保全型農業直接支援対策実施要綱 環境保全型農業直接支援対策実施要領 |